



「佐渡障がい福祉フォーラム 2026」を開催します

「あたりまえをみんなでつくる～言うのは簡単、やるのは本気～」をテーマに、島外より4名を講師としてお迎えし、講演会を開催します。

また、「あーと&まるしえ」では、島内作業所の授産品の販売やアール・ブリュット展、カフェ、ポスターセッション等を行います。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いします。

日 時 令和8年7月 11 日(土) 9:30～17:00 (受付 9:00～)

会 場 あいぽーと佐渡

講演内容

9:40～10:50 小竹 康裕 氏 (MAZQA 株式会社 代表取締役)

「障がいだからと諦めなくてもいい社会の実現へ

～親として、経営者としての視点から～」

11:00～12:30 寺田 誠 氏 ((福) 佛子園 輪島 KABULET 施設長 兼 法人理事)

「逆境への感謝」

13:30～15:00 有馬 桃子 氏 (きょうだい児と家族の応援団にじいろもびーる代表)

「知って欲しいな『きょうだい児』の気持ち」

16:20～16:50 野澤 和弘 氏 (毎日新聞客員編集委員・植草学園大学副学長)

「離島で“あたりまえの暮らし”をどう表現するか」

参 加 費 1,000 円(障がい者手帳提示で無料)

※あーと&まるしえはどなたでも無料で参加できます。

そ の 他 当日参加も可能です。

お問合せ 佐渡障がい福祉フォーラム 2026 実行委員会事務局(相談支援センターそらうみ内)

電話 : 0259-58-9150 携帯電話 : 090-3500-9150

本件についての問い合わせ先

佐渡市役所社会福祉部社会福祉課

担当 : 海老

電話(直通)0259-63-3127



あたりまえをみんなでつくる

～言うのは簡単、やるのは本気～

私たちがふだん「あたりまえ」と思っていることは、実は誰にでも同じようにあるわけではありません。佐渡で安心して暮らし続けるためには、地域のつながりの中で支え合いを積み重ねていくことが大切です。

佐渡障がい福祉フォーラムは、立場を超えて“あたりまえの暮らし”を一緒に考える時間です。

言うのは簡単、やるのは本気。これからも一歩ずつ積み重ねていく場を目指します。

参加費 1,000 円

障害者手帳提示で無料



7月11日(土) あいぽーと佐渡

9:30~17:00 (受付9:00~)

佐渡障がい福祉フォーラム 2026

障がいだからと諦めなくてもいい社会の実現へ
～親として、経営者としての視点から～

小竹 康裕 氏 MAZAQ 株式会社 代表取締役



IT 企業経営 24 年。障がいを持つ娘をきっかけに福祉業界へ参入。経営者と障がい児の親、両方の視点から就労継続支援 A 型・B 型、地域活動支援センターⅢ型を運営。
「諦めなくていい社会をつくる」

9:40

知ってほしいな「きょうだい児」の気持ち

有馬 桃子 氏

きょうだい児と家族の応援団
にじいろもびーる 代表

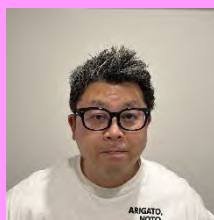


障がいや病気のある人の兄弟姉妹のことを「きょうだい」と表します。本講演では、きょうだいが経験しやすい出来事やその中で感じやすいこと、支援活動の実際などをお伝えし、身近なところからできることをみなさまと一緒に考えたいと思います。

13:30

逆境への感謝

寺田 誠 氏 社会福祉法人 佛子園
輪島 KABULET 施設長 兼 法人理事



輪島 KABULET は 2015 年から始まった地方創生プロジェクト。

中心市街地の空家再生と福祉を一体化した「ごちゃまぜ」の地域拠点を展開。

能登半島地震、奥能登豪雨被災後はコミセンを展開し復興にも挑んでいる。

11:00

15:20

離島で“あたりまえの暮らし”を
どう実現するか

野澤 和弘 氏

毎日新聞客員編集委員・植草学園大学副学長



少子高齢化が進み、どこへ行っても人手不足の現場ばかりです。こんな時こそ、日本辺境論。いつも周辺からこの国は変わってきました。

佐渡の豊かな自然と歴史、人の輪が未来に希望を灯します。

タイムスケジュールは裏面をチェック！

主催：佐渡障がい福祉フォーラム 2026 実行委員会

共催：佐渡市、新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部、社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会、社会福祉法人佐渡福祉会

予定 社会福祉法人佐渡国仲福祉会、社会福祉法人とき福祉会、社会福祉法人しあわせ福祉会、一般社団法人 SADO Act、合同会社 MORE

後援：公益財団法人真柄福祉財団（特別後援）、一般社団法人佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会

予定 JA 厚生連佐渡総合病院、佐渡市身体障がい者福祉協議会、佐渡市手をつなぐ育成会、佐渡市精神障がい者家族会佐渡よつば会

■問い合わせ：佐渡障がい福祉フォーラム 2026 実行委員会事務局（相談支援センターそらうみ内）

〒952-0108 新潟県佐渡市上新穂 646-9 TEL：0259-58-9150 携帯：090-3500-9150

Mail：sado.act.info@gmail.com

申込みはこちらから！ 6/30（火）〆切 ▶▶



SADO FORUM 2026 TIMETABLE



佐渡障がい福祉フォーラム 2026 タイムテーブル **多目的ホール（メイン会場）**

9:00～ 受付開始

9:30-9:40

開会あいさつ

1

9:40-10:50

小竹 康裕 氏

MAZAQ 株式会社 代表取締役。EC 事業を 24 年以上展開し、マーケティング・コンサルティング分野でも実績を持つ経営者。娘の障がいを機に、現在は福祉とビジネスを融合した地域課題の解決に取り組んでいる。



10:50-11:00

休憩（10 分）

2

11:00-12:30

寺田 誠 氏

輪島 KABULET 施設長 兼 法人理事。ホテルのフレンチシェフを経て青年海外協力隊へ参加。ジンバブエ国立調理師専門学校の講師を 2 年勤めた。帰国後、JOCA(公益社団法人青年海外協力協会)へ入職。東日本大震災発災後、JOCA から復興庁岩手復興局へ出向し災害支援に従事。2015 年 12 月 1 日、輪島 KABULET のプロジェクト発足時に復興庁での勤務を終え、改めて JOCA から社会福祉法人佛子園に出向し現在に至る。

12:30-13:30

休憩（60 分）

3

13:30-15:00

有馬 桃子 氏

公認心理師・臨床発達心理士・介護福祉士
きょうだい当事者としてきょうだいの集まりに参加したことをきっかけに、きょうだい支援につながる。「きょうだい児と家族の応援団にじいろもびーる」代表として東京で活動中。大人のきょうだい会の運営や啓発活動も行っている。



15:00-15:20

休憩（20 分）

4

15:20-16:50

野澤 和弘 氏

毎日新聞社東京本社社会部にて、いじめ・ひきこもり・児童虐待・障害者虐待などに取り組む。夕刊編集部長、論説委員などを歴任。現在は、毎日新聞客員編集委員・植草学園大学副学長。著書に、「日本のインクルーシブ教育とは」ぶどう社(2025 年・共著)、「弱さ愛せる社会へ～分断を超える令和の幸福論」中央法規(2023 年・単著)、「障害者のリアル×東大生のリアル」ぶどう社(2016 年・共著)など他多数。

16:50 閉会

イベント会場 : café・アールブリュット

授産品マルシェ・ポスターセッションなど